「アジア善隣物流」で日本とアジアの競争力向上へ！

アジア・シームレス物流フォーラム2016

Asia Seamless Logistics Forum (ASLF)

第1回 企画・実行委員会を開催

アジア共生の時代に向け物流情報発信の場に

㈱流通研究社・月刊マテリアルフローは去る11月30日，2016年５月19日㈭・20日㈮の２日間にわたって東京流通センターで開催する「アジア・シームレス物流フォーラム（ASLF）2016」の第１回企画・実行委員会を，都内中央区銀座の交詢社にて開催，委員と関係者40余名が参集した（図表1）。

本フォーラムは「アジア善隣物流」を旗印に2012年に第１回を開催以来，年々，製配販・産官学の各界に共鳴の輪を広げ，規模と内容を拡充。「アジアの時代」が現実のものとなって世界経済の牽引役になりつつある今，まさに時代のニーズを受け止めるイベントとしてその意義と評価が確立され，2015年６月の第４回フォーラムでは，前年を４割上回る7,616名の来場者を迎えた。

これを受けて流通研究社に設置されたフォーラム事務局では，第５回目となる2016年の開催に向け，企画・実行委員会の強化刷新をめざし，準備を進めてきた。製配販各分野の代表企業を拡充するとともに，昨年から迎えた国交・経産両省のオブザーバーも含め，従来以上に強力なメンバー編成を実現し，注目されている（図表1）。

挨拶する間野勉社長

委員会では初めに主催者を代表して流通研究社の間野勉社長が立ち，参集した委員各位に礼を述べた後，次のように挨拶した。

＊

「アジア・シームレス物流フォーラム」は，私が15年前に原型となる展示会企画を提案したあと，諸般の事情によって実現が遅れたものの，2012年に第１回の開催にこぎつけることができました。

この間にアジア市場のボーダレス化，シームレス化は急速に進みました。振り返れば80年代以降は日本がハードの開発，ものづくりで世界を席巻したのですが，ハードウェア偏重のビジネスモデルは今では弱点になったとの指摘もあります。これにソフトウェアを載せてハードとソフトの融合を図ることが，IoTの時代の現在，求められていると言えるでしょう。

そのとき，物流戦略は競争でなく，ある程度のプラットフォームを共有・共同利用し共生する方向に転換していくのではないでしょうか。物流はまさにその流れにあり，「アジアの物流シームレス化」を提案する本フォーラムには，それを推進する情報発信の源となる使命があることを強く感じています。

本フォーラムの来場者は昨年，7,600人を超え，内外から大きく注目を集めました。来年は１万人超えを目標に準備を進めているところですが，「アジアへの情報発信」の構想も踏まえ，次回はその方向性と可能性を確認する機会になると考えています。

本フォーラムが掲げる「アジア善隣物流」とは，50年前に私の恩師・平原直（当時流通研究社名誉会長，日

図表1 アジア・シームレス物流フォーラム2016 企画・実行委員会 正委員（敬称略・順不同）

共同議長	
イオングローバルSCM㈱／取締役 経営管理本部長	太田 年和
日本通運㈱／事業開発部長 お客様相談センター所長	井口 博実
委員	
㈱イトーヨーカ堂／物流企画開発部 統括マネジャー	松浦 敦
㈱日本アクセス／執行役員 東日本営業部門長代行 兼 ロジスティクス統括	布施 和博
アサヒビール㈱／経営企画本部 物流システム部 理事 部長	児玉 徹夫
日産自動車㈱／SCM本部 特別顧問	安藤 康行
キヤノン㈱／ロジスティクス統括センター 副所長	福森 恭一
日本貨物鉄道㈱／鉄道ロジスティクス本部 営業統括部長 兼 営業部長 取締役・執行役	真貝 康一
三井倉庫ロジスティクス㈱／取締役 執行役員 営業統括 兼 SCM営業本部長	恵谷 洋
ヤマトロジスティクス㈱／代表取締役社長	本間 耕司
山九㈱／ロジスティクス・ソリューション事業本部 企画部 部長	中原 敬一郎
センコー㈱／物流経営研究所 副所長	藤原 正邦
佐川グローバルロジスティクス㈱／取締役	正代 誠
㈱セイノー情報サービス／常務取締役 東京本社担当 兼 第二営業担当	松本 充博
エムエスシージャパン㈱／代表取締役社長	甲斐 督英
郵船ロジスティクス㈱／執行役員 総合開発営業部長	川島 利夫
㈱日立物流／理事 ロジスティクスソリューション開発本部 副本部長	福神 健字郎
東芝ロジスティクス㈱／常務取締役 グループロジ企画部長	正木 裕二
日通商事㈱／取締役 執行役員 情報システム部 経営企画部担当	宿谷 肇
日本アイ・ビー・エム㈱／インダストリー営業統括 流通営業本部 担当執行役員	伊藤 昇
㈱NTTデータ／第一公共事業本部 第二公共事業部 営業部 貿易物流ソリューション担当 部長	佐野 直人
伊藤忠テクノソリューションズ㈱／情報通信事業企画室 クラウドサービス営業部クラウドサービス営業課 主任	長谷川 真一
㈱シーアールイー／経営企画本部 海外事業推進室 室長	槇谷 真生子
㈱ダイフク／常務執行役員 FA&DA事業部門長	下代 博
㈱豊田自動織機 トヨタL&Fカンパニー／国内営業部 部長	小倉 崇
日本パレットレンタル㈱／取締役 開発営業部 管掌	岡部 利文
ユーピーアール㈱／代表取締役社長	酒田 義矢
三甲㈱／専務取締役 営業部部長	赤星 慎一郎
日本貿易振興機構（JETRO）／総括審議役（途上国ビジネス開発担当）	石井 淳子
国際協力機構（JICA）／東南アジア・大洋州部 部長	田中 寧
（一社）日本経済団体連合会／産業政策本部長	上田 正尚
（一社）日本物流団体連合会／理事 事務局長	村上 敏夫
（一社）日本アパレル・ファッション産業協会／事務局長	遠藤 孝顕
（一財）流通システム開発センター／常務理事	濱野 径雄
（一社）日本パレット協会／会長｜アジアパレットシステム連盟	山﨑 和彦
オブザーバー	
国土交通省／物流審議官部門 国際物流課長	勝山 潔
経済産業省／商務情報政策局 商務流通保安グループ 物流企画室 室長補佐	勝尾 嘉仁

本パレット協会初代会長）が唱え始めた構想です。その実現を目指すとともに，本日ご参集の委員の皆様方のご意見を頂いて，アジアへの市場拡大・推進に役立つ企画とし，新たな情報を提供・交流できる場にしていきたいと考えています。

その主役は皆様であります。最後まで一層のご指導のほど，よろしくお願い申し上げます。

■会場スペース倍増で企画を一層拡充，フォーラム2016の枠組み

続いて，フォーラム企画・実行統括の同社・菊田一郎専務取締役が委員会と2016年度フォーラムの開催趣旨，企画の枠組み案を説明した。

本フォーラムの狙いはアジア物流のシームレスな相互連携を推進するため「ものと情報の標準化」「物流の見える化」をサブテーマに掲げ2012年にスタート。その後，委員会での意見集約により「サプライチェーンの強靱化」「安全・環境保全」「アジア進出支援」をサブテーマに加え，コンセプトを拡充した。

本企画・実行委員会の目的は，政府と製・配・販各界の声を企画に反映させることで内容を毎年刷新・拡充し，わが国産業界の総意を反映したフォーラムとし，参加の輪をさらに拡大することにある。

ASLF2016におけるセッション／セミナー構成として，事務局からは図表2の骨格が示された。前回に時代の求める新テーマとして，「コールドチェーン」「オムニチャネル」「SPA／製配販シームレス・サプライチェーン」「アジア経済共同体（AEC）」などの意欲的テーマを追加したが，今回はさらに

- TPPの展望と対応
- ハラール物流への対応
- 中小企業の輸出・進出拡大支援
- IoT/Industri4.0…シームレス連携と見える化

などの先端テーマを取り入れる構想が示された。

また展示コーナーでは大別して「アジアのシームレス物流実現」「国際物流の見える化推進」「環境負荷低減・コスト削減，安心・安全・強靱化」の3分野を立て，各テーマの実現・高度化を支援するサービス・技術・製品の提案を募るという基本枠組みは維持（図表3）。

しかし展示についても，セッションで計画する新テーマに対応し，コールドチェーン・ハラール物流支援，中小企業のアジア輸出・進出拡大支援，地方港の活用支援，IoT/Industri4.0……等の新テーマを取り入れ，「展示コーナー」とする案も含

め，検討を進める。

なお，従来は会場となる東京流通センター第２展示場・Ｅホール（1F）を使用していたが，次回はＦホール（2F）も使用することを決定。これにより前回，多数の来場者が訪れ混雑した事態の改善を図るとともに，全200小間への出展規模拡大が可能となる。このため事務局では，物流専門メディアや参加・後援団体・企業からの来場呼びかけに加え，ソーシャルメディア・一般メディアも活用し，出展社と来場者のさらなる動員拡大を図る方針などが説明された。

図表2 ASLF2016のセミナー・セッション構成

❶ 物流政策セッション	アジア・シームレス物流への政策・国際連携……国交省，経産省ほか省庁，JETRO，JICAなど政府系団体とのコラボ企画など
❷ 国際連携セッション	中国，韓国，ASEAN各国との物流連携……海外スピーカーを招く計画
❸ 製造業セッション	アジア各国とのサプライチェーン連携の実態と課題……自動車，電機，医薬品・医療機器，アパレル，食品・日用品その他製造業の取り組み
❹ 流通業セッション	アジアに展開する小売業と物流シームレス化……小売（SM／GMS，コンビニ，専門店等），卸の取り組み；オムニチャネル・リテイリングへのチャレンジ
❺ 通販物流セッション	アジア市場に広がる越境通販ビジネスとシームレス物流……通販企業とラストワンマイルを物と情報でつなぐ各種ソリューション
❻ 生鮮物流／コールドチェーンセッション	アジアに展開する生鮮・低温サプライチェーン……農水産品，低温食品・薬品等の安心・安全な物流／支援技術・サービス
❼ 製配販シームレス連携セッション	製造小売（SPA）による調達・製造・販売・物流／宅配までの統合・シームレス・サプライチェーン，それを支える物流ネットワーク
新提案企画テーマ	
●TPPの展望と対応／ハラール物流対応事例	
●中小企業の輸出・進出拡大支援（越境EC含む）	
●IoT／Industri4.0…シームレス連携と見える化	

■イオンGSCM・太田氏，日通・井口氏が共同議長に就任

委員会は次に参加委員の自己紹介を経て，議長専任に移った。事務局より，今回から荷主企業代表と物流企業代表の２名による共同議長制とすることとしたい旨の説明があったあと，荷主代表としてイオングローバルSCM㈱取締役 経営管理本部長の太田年和氏，物流代表としては日本通運㈱事業開発部長・お客様相談センター所長の井口博実氏を推薦。満場一致で了承された。

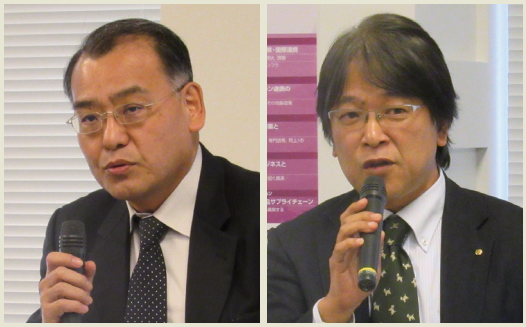
両議長の就任挨拶を経て，審議に入った。議題は，①フォーラムの開催コンセプト・方向性，②セミナー各セッションの内容・テーマ，③展示コーナーの方向性・出展拡大，④集客拡大の方向性等の議題についてで，前半は太田共同議長が進行。

図表3 展示コーナーの対象分野

❶ アジアのシームレス物流支援	陸海空の物流サービス，施設・3PLサービス／パレット・コンテナ等物流機材の国際シームレス運用，ものと情報を一貫・一体管理するICT（情報通信システム，サービス），セキュリティ管理／アジア進出支援／オムニチャネル支援ソリューション他
❷ 国際物流の見える化推進	サプライチェーン可視化（ビジビリティ）・トレーサビリティ支援，ビッグデータ解析・クラウド，サプライチェーン計画・監視・実行システム／オートID技術（RFID，2次元，バーコード），リアルタイムロケーション管理システム（RTLS）／車載・スマート端末／輸出入・通関・貿易業務管理システム他
❸ 環境負荷低減・コスト削減，安心・安全・強靱化	物流荷姿（ユニットロード／物流機材）のモジュール化，国際標準化，マテハン機器との連携／荷崩れ防止と環境負荷低減に資する包装・梱包，物流容器・資材の共有化・共用化，リターナブル運用サービス／薬食品の安全を守るコールドチェーン支援技術・サービス／BCP対応物流ネットワーク他
新提案企画テーマ（⇒上記のセッション企画を展示コーナーに連動）	
●コールドチェーン支援…保冷機材，保管・輸送技術，ICT	
●TPP対応／ハラール物流解決コーナー	
●中小企業のアジア輸出・進出拡大支援	
●地方港の活用支援コーナー	
●IoT／Industri4.0コーナー など	

各委員からは先の事務局基本提案に賛同が示されたうえ，パネルディスカッションなど前回の反省事項と改善の方向性確認，新テーマの導入，フォーラム全体としての統一感を持たせる工夫，セミナー企画と展示の連動推進，海外来場者に備えた英語対応……等々，活発な意見交換が行われ，企画の充実に向けた手ごたえが実感された。

後半は進行を井口共同議長に交代し，質疑応答の後，井口氏が議論のまとめを行った。最後に１月29日に第２回委員会を開催することを確認し，委員会は終了。別室に移動して行われた懇親会は，各委員相互が親しく話し合い，結束を固める場となった。 MF



共同議長に選任され挨拶する
イオングローバルSCMの太田氏と日本通運の井口氏

☞ フォーラム事務局では，ASLF2016展示コーナーへの出展申込み受け付けを開始した。詳しくは下の事務局へ問い合わせを。記載のWebサイトからパンフレットがダウンロードできる。

アジア・シームレス物流フォーラム事務局

㈱流通研究社
〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-47-6
［TEL］03-3988-2661 ［FAX］03-3980-6588
［URL］http://www.mf-p.jp
＊資料請求はお電話またはeメールで下記へ
［Email］info@mf-p.jp